

隣組幼稚園

□隣組では、教へられたり教へたり、助けられたり助けたりに、いろ／＼のことがありますが、互の子どものことも、その大切な目録の一つではありますまいか、折角お母さんを主にしての集りに、これが問題にならなかつたら、よつほど、どうかしてゐる位です。

□一體……と組長さんが咳拂ひなさる譯じやありませんが、子どもの問題は、親同志が近づきになり、ほんとうに心の近所といふことになつて、一寸注意すればうまくゆけるもどが出来たのです。

□それがよくいつた形を、隣組幼稚園とも名づけませうか。「あら、みんなで面白そうですね。隣組幼稚園ね。」なごやかではありませんか。更に進んで、「今日おひるから皆さんうちへ遊びにいらつしやいね。お姉さんが紙芝居を見せてあげますつて。」までいけば、堂々たる認可隣組幼稚園です。それが次々に場所が變つ

て、お庭軒々々の家庭の中だけで片づくものではありません。近所同志心を一つにし、力を協はせあはないとうまくゆきません。たとそれが、以前はなが／＼うまくいかなかつたのです。第一親同志が逢つても口をきかないといつた關係では、思ひもよらぬことです。それどころか、互の子どもを、あれはごの子だ、いつしよに遊ぶんじやないよ。では、協力どころか排撃、反撃です。それが、隣

組で先づ庭の広い家ではお庭あそび幼稚園、鶏を飼つてゐる家では動物観察幼稚園、名所繪がきても澤山ためてゐる家では寫眞展覽會幼稚園、蓄音機のある家ではレコード鑑賞幼稚園と、順々に招きあつて、移動式隣組幼稚園が出来上る譯です。あれはごの子だといは大層な相違です。

□隣組幼稚園には、そうした子どもの樂しみのほかに、「奥さんお取込みでお忙しいうです。お子さんはお預りしますから、御安心してお出かけ遊ばせ」の留

守預り幼稚園も出来ませう。「今日は隣組生産日ですね。お子さん達は宅の方へ集つてゐて頂きませう。」の主婦勤勞手助け幼稚園も出来ませう。こうした實用的便宜の上に、或る日の隣組の話題には、子どもの育て方躰け方の苦心談や研究會もあつていゝでせうし、参考になつた育児教育の本や雑誌の貸しあひもあつていゝでせう。そうなると、隣組幼稚園の職員會といふことになりませうか。それがどんなに互の家庭教育を助けることでせう。

□しかも、隣組幼稚園の一番いゝことは、子ども達に隣同志といつた社會的の感情を、豊に養ひ得ることです。子どもの教育が個人主義にならぬやうに氣をつけることは、何より大切なことですが、それは、斯うした手近かな實際からこそ養はれます。——隣組幼稚園のいゝことは、子どもばかりではない。親が先づ、人の子を自分の子と同じく大切に考へる様に教育されてゆくことですね。その肝要は言ふまでもありません。